

# 第1章 策定の趣旨と位置づけ

---

## 1 策定の趣旨

農業集落排水事業は、農林水産省所管の補助事業として始まった農村の下水道事業です。

本市では、農業集落排水事業の目的を達成するために、平成8年度から平成13年度において積極的な建設事業を行い、平成12年度から供用が開始され、処理区域における水環境と生活環境を大きく改善しました。

一方で、多額の建設投資は、その財源の多くを企業債で賄っており、事業の運営経費及び企業債の償還については一般会計からの繰り入れに依存する経営状態となっています。

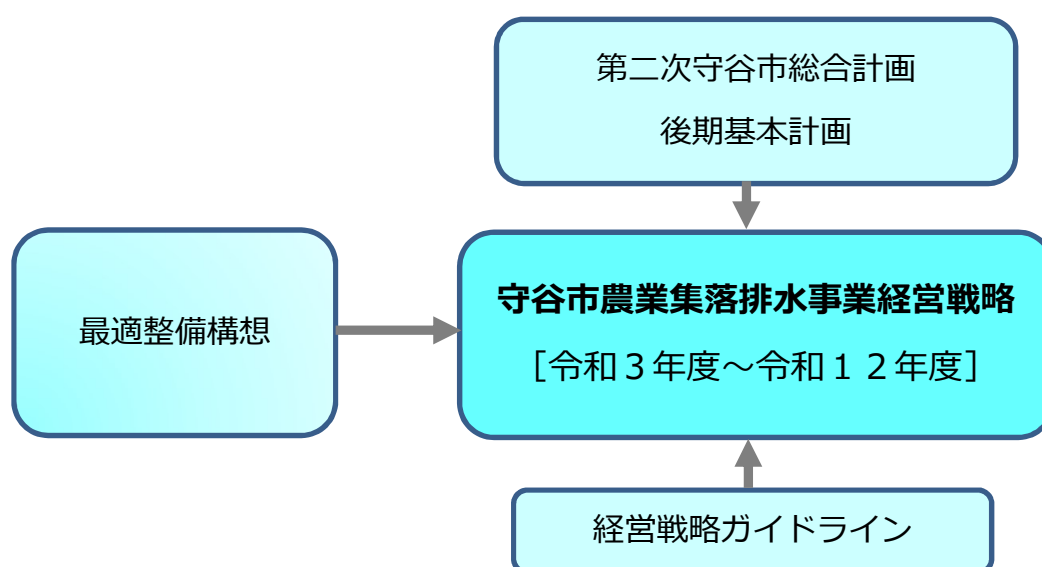
さらに、近年は処理区域の人口減少により使用料の収入が減少し、供用開始から20年以上が経過した今後増加する老朽化施設の更新にも多額の投資が必要となります。

このような厳しい経営環境の中、事業の置かれている現状を把握するとともに、中長期的な視点から、将来負担するコストの見える化を図るため、本経営戦略を策定しました。

令和3年3月 守谷市上下水道事業  
守谷市長 松丸 修久

## 2 位置づけ

守谷市農業集落排水事業経営戦略は、上位計画である「第二次守谷市総合計画後期基本計画（平成28年3月）」と整合を図り、また、農業集落排水施設の機能診断調査の評価結果に基づき、最適な修繕・更新計画を定めた「最適整備構想」を踏まえ、総務省の「経営戦略ガイドライン(平成29年3月策定)」に沿って策定します。また、現状と将来見通しを把握した上で、管路・施設に関する投資の見通しを試算した「投資計画」と、財源の見通しを試算した「財政計画」を踏まえ、収入と支出が均衡するよう調整した中長期の「収支計画」を策定し、持続可能な農業集落排水事業の実現に向けた具体的な取り組みを掲げていきます。



## 3 計画期間

### 令和3年度から令和12年度までの10年間

本経営戦略の計画期間は、中長期的な観点から将来見通しを行った上で、上記計画期間としています。ただし、計画期間内においても、事業を取り巻く環境変化を計画に反映させるため、PDCAサイクルにおいて適宜見直しを行っていきます。

## 4 基本事項

- ・本経営戦略内の年号の表記については、図中はH(平成),R(令和)と示しています。
- ・本経営戦略は、本市で策定した最適整備構想の結果に基づいて作成しています。